

事務事業名	21226 道路橋りょう総務事務費													
担当組織	都市整備部					道路管理課					担当	管理担当		
組織コード	R3	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	02	01	01	98	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	20	09	00		R2	01	08	02	01	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	○ 対象 ● 対象外
分野	03 道路	
施策	53 安全な橋梁の整備	
事業期間	平成17年度～令和12年度	
根拠法令 通達等	関連計画 施政方針	
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの	
対象		
事業目的	※予算編成用シート（指標等未設定）	
事業内容	※予算編成用シート（指標等未設定）	
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input type="checkbox"/> 協働・協力 ()	

2. 実施結果

事業の 予算・実績			令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業内容		事務費	事務費	事務費	事務費	事務費	
	事業費		1,118	2,914	2,914	2,914	2,914	
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0	
	県支出金		0	0	0	0	0	
	起債		0	0	0	0	0	
	その他		1,118	1,366	1,366	1,366	1,366	
	一般財源		0	1,548	1,548	1,548	1,548	
	人件費		1,384.8	1,384.8	1,384.8	1,384.8	1,384.8	
投入 人員	常勤職員		0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	
	非常勤職員		0人	0人	0人	0人	0人	
	事業費+人件費		2,503	4,299	4,299	4,299	4,299	
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①							-
	活動②							-
	成果①							-
	成果②							-
目標達成 状況 の分析	- : 未設定 <判断理由> 道路・橋りょう事務全般に亘る庶務的業務であり、事務事業評価にそぐわないため。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	－：未設定
	－	－	－	<判断理由>

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし
見直しの効果	特になし

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input checked="" type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する必要がある。 なお、令和3年度に「土木積算システム事業」を統合し、名称を「道路総務事務費」とする。
今後の取組方針	事業全般を円滑に推進するため必要な経費であり、大きな見直しはなく、現状のまま継続する。 なお、本事業(令和3年度に名称を「道路総務事務費」に変更)は、令和4年度に名称を「道路事務費」に変更する予定である。

事務事業名	27663 橋梁整備事業													
担当組織	都市整備部					道路管理課					担当	保安担当		
組織コード	R3	20	09	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R3	01	08	02	01	01	03	記入日	令和 3年 6月24日
	R2	20	09	00		R2	01	08	02	03	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ		実施計画候補
基本目標	05 快適で過ごしやすいまち	● 対象 ○ 対象外
分野	03 道路	
施策	53 安全な橋梁の整備	
事業期間	平成20年度～令和3年度	
根拠法令 通達等	道路法 道路構造令 道路橋示方書 埼玉県福祉のまちづくり条例	関連計画 施政方針 戸田市第4次総合振興計画 戸田市都市マスタープラン 戸田市環境基本計画
事業区分	○ 法定受託事務 ● 自治事務のうち義務的なもの ○ 自治事務のうち任意のもの	
対象	徒歩、自転車、自動車等で橋梁を利用する通行者及び沿道利用者	
事業目的	河川によって分断されている地域を結ぶために、パイプの役目を果たす橋梁を整備することにより、地域間交流の促進、通勤・通学時の利便性の向上、災害時の交通連絡網（緊急輸送路）として、橋梁利用者の安全性、快適性の確保を図る。	
事業内容	既存橋梁の補修、ユニバーサルデザインへの対応、道路橋定期点検	
実施主体	■ 市による単独直営 ■ 委託 (□ 3セク・財団 ■ 企業 □ 市民・NPO □ 協働・協力 ())	

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		令和2年度 執行額(千円)	令和3年度 予算額(千円)	令和4年度 計画額(千円)	令和5年度 計画額(千円)	令和6年度 計画額(千円)	
	事業費		81,537	96,054	0	0	0	
	財源内訳	国庫支出金	0	27,390	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	38,800	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	81,537	29,864	0	0	0	
	人件費		4,846.8	7,616.4	0	0	0	
	投入 人員	常勤職員	0.7人	1.1人	0人	0人	0人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		86,384	103,670	0	0	0		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		R1目標 R1実績	R2目標 R2実績	R3目標 R3実績
	活動①	橋梁補修実施数	橋	補修実施数	5	5	6	
					5	3	-	
	成果①	橋梁補修実施率	%	補修実施数÷要補修橋梁数(40橋)	40	50	65	
					42	50	-	
成果②						-		
目標達成 状況 の分析	B：活動・成果のいずれかを達成した。 ＜判断理由＞ 「戸田市長寿命化修繕計画」に基づき予防保全的な補修を実施し、適切な維持管理を行い、予定していた橋梁補修工事（3橋）が繰越となり活動目標について未達成となったが、令和3年度に繰越した3橋を含め、6橋の補修工事を予定している。							

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	30年度	1年度	2年度	A：施策の目標達成に大いに貢献している。
	A	A	A	<判断理由> 橋梁の健全化を図るため、戸田市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修を実施している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	30年度	1年度	2年度	A：経費の精査が十分になされている。
	A	A	A	<判断理由> 本業務は、県の積算基準や単価に基づき、積算し、入札により受注者を決定している。また、予防保全型の修繕により、予算の平準化を図っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	30年度	1年度	2年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 計画的に補修を進めるとともに定期点検を実施し、計画の見直しを行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	30年度	1年度	2年度	A：受益・負担は十分な検討、見直しを実施している。
	A	A	A	<判断理由> 橋梁は市内全域に存在し、市民に日常的に利用されており、受益・負担は適正である。

4. 令和2年度中に実施した見直し内容

見直し内容	特になし。
見直しの効果	特になし。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input type="radio"/> 1現状で継続 <input type="radio"/> 2拡大して継続 <input type="radio"/> 3縮小して継続 <input type="radio"/> 4他事業と統合 <input type="radio"/> 5休止 <input type="radio"/> 6その他見直し <input type="radio"/> 令和4年度で終了 <input checked="" type="radio"/> 令和3年度で終了 <input type="radio"/> 令和2年度で終了
	<判断理由> 定期点検の結果、補修等を行う必要があると判定された橋梁10橋について、令和3年度までに補修が完了する見込みである。 そのため、本事業を令和3年度で終了し、令和4年度に「道路補修事業」（令和2年度「道路維持管理補修事業」）に統合する予定である。
今後の取組方針	橋梁は市民の日常生活を支えるだけでなく、災害発生時やその後の復旧作業における重要な交通連絡網であり、適切に維持管理することが重要であるため、統合後についても「戸田市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき定期的な点検を実施し、適宜修繕・補修を実施する。